

『ピカいち!!さんの自問自答』～会派って？

投票日の翌日、4月23日には当選証書の授与が行われました。新人の議員としてどうか住民の皆さんの負託に応えなくてはならないと、その責務の重さを強く感じていました。

しかし、それと平行するような形で、水面下ではすでに会派の勧誘活動が行われ始めていました。

町民の皆さんの信任を重く受け止めていた時でしたので、何となくピンとこない気がいたしました。

「会派とは、議会における基本的な政策が一致する議員の集団をいう。」
(三芳町議会議員会派規程)

とあるように、基本的には政策的一致が前提です。また、原則的には2人以上で構成することが求められていますが、1人会派も容認されています。

会派を作ることは、共通の政策を前提にした政治活動です。しかし、実際には、上述した政務調査費が会派に対して交付されることや、会派ごとに部屋が用意されること等もあるかと思われます。

現在、三芳町議会には、21町政クラブ(3人)、公明党(3人)、共産党(3人)、民主党(1人)、ネットワーク三芳(1人)、wing(1人)そして、大空(4人)の各会派があります。

もちろん、こうした各会派も政治理念や政策、志などが一致して、集まって作られているものと考えられます。しかし、あまりにも迅速過ぎる動きは、ややもすると議長、副議長職という役職取りの数合わせに走っているようにも見受けられます。

つい先日まで繰り返されてきた選挙戦での候補者の姿とは、似ても似つかない姿に見えます。住民不在の密室の政治になってしまっはいけないと感じました。

しかし、民主主義は、多数決の原則がありますから、最終的には数の論理も理解できます。決して、多数派工作を否定する気持ちはありません。

「でも何か違うなあ・・・？」

これが、新人議員の率直な感想でした。

私も、そうした現実を踏まえ、政治理念や志を見極め、会派「大空」に所属しました。また、新人同士で町に新しい風を入れるための勉強会“Light-house”(灯台)も立ち上げました。

あくまでも、駅で立ち、町を歩き、多くの人に接した時の町民の皆さんの感覚を、思いを大切にしていきたいと考えています。